

# いよいよ、ほうちょう



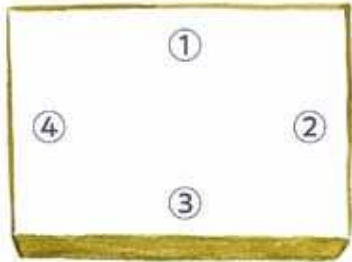
まずは、ほうちょうの  
きほんクイズから。  
これができたら  
ほうちょうをもってみよう！

Q1 ほうちょうとやさい、  
さいしょに  
手にもつのはどっち？



こたえ……………やさい  
まず、まないたのまん中<sup>まんちゆう</sup>にやさいをおく。ぐらぐらしな<sup>ぐらぐらし</sup>いところを下<sup>した</sup>にして、きるものを<sup>きるもの</sup>をおちつかせる。これだじ。

Q2 ほうちょうを  
おく場所<sup>ばしょ</sup>は、  
どこ？



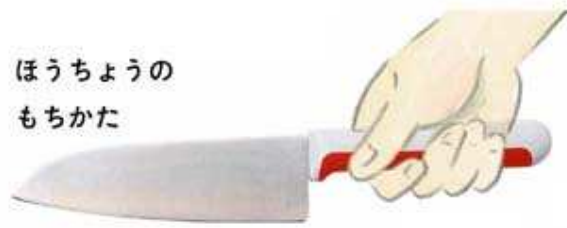
こたえ……………①  
ほうちょうがうごいても、足の<sup>あし</sup>上<sup>うへ</sup>におちない場所<sup>ばしょ</sup>におこう。

Q3 ほうちょうを  
おくときは、  
どっちにむける？



こたえ……………①  
これなら、まないたのやさいをうごかしても、ほうちょうのきれないところ<sup>せなか</sup>にあたるよ。

ほうちょうの  
もちかた



あんまり力<sup>ちから</sup>を入れないで。

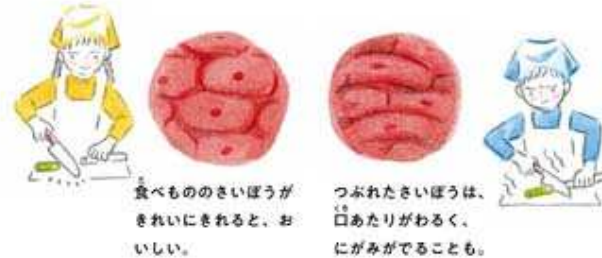
きほんの  
きりかた



※なれてくると、前<sup>まえ</sup>におすだけでも、きるようになるよ。



ひこうきが、ちゃくりくするときみたいに、少しあたまをさげて、前<sup>まえ</sup>におしだすようにして、きる。そのあと、ほうちょうをうしろにひくと、さいごまできるよ。おして、ひく！



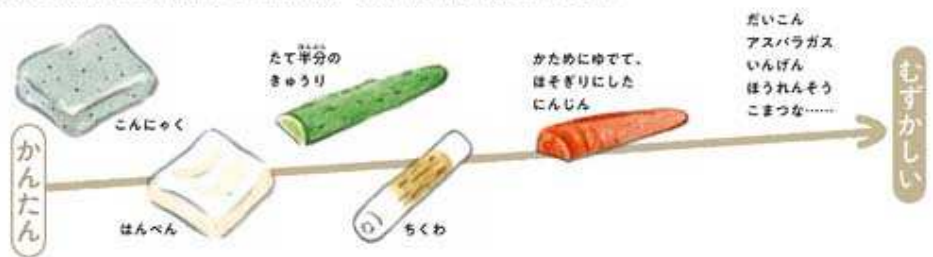
食べもの<sup>たべもの</sup>のさいぼうがきれいにきれると、おいしい。

つぶれたさいぼうは、口<sup>くち</sup>あたりがわるく、にがみがでることも。

おとなのかたへ  
当<sup>あた</sup>りで食べ物を<sup>たべもの</sup>をおさえる手<sup>て</sup>は、必ずしも「ねこの手<sup>ねこのて</sup>」になっていなくても構<sup>かま</sup>いません。まずは、左手<sup>ひだりて</sup>で食べ物を<sup>たべもの</sup>きちんと固定<sup>こてい</sup>して、指<sup>ゆび</sup>が刃<sup>やいば</sup>の下<sup>した</sup>に來<sup>き</sup>ないように紙<sup>かみ</sup>をつけることが大事<sup>だいじ</sup>です。また、ちゃんと切<sup>き</sup>れる包<sup>たぶ</sup>丁<sup>てい</sup>を使用<sup>し</sup>しましょう。当<sup>あた</sup>りはのこぎりではありません。

## こんなもの、きってみよう

大きなもの、かたいものは、おとなの人<sup>おとなのひと</sup>に、きりやすいかたちにしてもらおう。



かんたん

こんにゃく  
はんぺん

たて半<sup>な</sup>分のきゅうり

ちくわ

かためにゆでて、ほそざりにしたにんじん

だいこん  
アスパラガス  
いんげん  
ほうれんそう  
こまつな……

むすかしい